



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社オプトラン 上場取引所 東
コード番号 6235 URL <https://www.optorun.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 範 寛
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 石野 雅彦 TEL 049-299-8199
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 25,189 | △12.9 | 6,318 | △26.2 | 6,965 | 30.6 | 5,440 | 32.7 |
| 2023年12月期第3四半期 | 28,933 | 16.7 | 8,567 | 37.2 | 5,334 | △31.1 | 4,098 | △30.0 |

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 6,124百万円 (△11.5%) 2023年12月期第3四半期 6,922百万円 (△25.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期第3四半期 | 123.84 | 122.11 |
| 2023年12月期第3四半期 | 94.02 | 92.29 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 77,289 | 60,022 | 76.8 |
| 2023年12月期 | 78,490 | 56,915 | 71.7 |

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 59,338百万円 2023年12月期 56,315百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | - | 0.00 | - | 50.00 | 50.00 |
| 2024年12月期 | - | 26.00 | - | - | - |
| 2024年12月期（予想） | - | - | - | 26.00 | 52.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,000 | △13.1 | 7,600 | △22.1 | 8,200 | 35.5 | 6,000 | 29.5 | 136.58 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2024年11月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年12月期3Q | 44,358,000株 | 2023年12月期 | 44,358,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期3Q | 305,711株 | 2023年12月期 | 543,054株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年12月期3Q | 43,931,563株 | 2023年12月期3Q | 43,594,151株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

※ 当社は、2024年11月12日（火）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料は、11月12日（火）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 7 |

[期中レビュー報告書]

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)における世界経済は、欧米を中心とした金融引き締め政策が緩和に向かう中、全体として底堅く推移しました。一方で長期化するウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化等の地政学リスクの高まりにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、売上高は、光学領域のEV/コネクテッドカー向けディスプレイ等が好調、AIスマートフォン向けカメラモジュールや光学部品が堅調に推移したものの、前年同期比で販売台数が減少したことにより、減収となりました。

利益面では、利益率の高いALD装置販売の貢献があったものの、前年同期比で販売台数が減少したことにより、営業利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、円安による為替差益の計上などにより、前年同期比で増益となりました。

その結果、売上高は25,189百万円(前年同期比12.9%減)、営業利益は6,318百万円(同26.2%減)、経常利益は6,965百万円(同30.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,440百万円(同32.7%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、54,409百万円と前連結会計年度末に比べ3,222百万円の減少となりました。減少した要因は現金及び預金や原材料及び貯蔵品が減少したことなどによるものです。

固定資産は、22,879百万円と前連結会計年度末に比べ2,020百万円の増加となりました。増加した要因は有形固定資産が増加したことなどによるものです。

(負債)

流動負債は、14,630百万円と前連結会計年度末に比べ4,466百万円の減少となりました。減少した要因は契約負債が減少したことなどによるものです。

固定負債は、2,636百万円と前連結会計年度末に比べ158百万円の増加となりました。増加した要因は繰延税金負債が増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、60,022百万円と前連結会計年度末に比べ3,106百万円の増加となりました。増加した要因は利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期業績予想の修正をしております。

詳細については、本日(2024年11月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 33,054,217 | 30,966,530 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,486,144 | 5,006,696 |
| 仕掛品 | 9,199,169 | 9,591,400 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,789,521 | 7,212,312 |
| その他 | 1,706,906 | 2,122,055 |
| 貸倒引当金 | △603,959 | △489,189 |
| 流動資産合計 | 57,631,999 | 54,409,806 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 11,406,542 | 13,299,657 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 343,120 | 198,951 |
| その他 | 80,506 | 59,869 |
| 無形固定資産合計 | 423,626 | 258,820 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 350,000 | 390,572 |
| 出資金 | 6,161,169 | 6,540,790 |
| 繰延税金資産 | 873,076 | 689,490 |
| その他 | 1,644,441 | 1,700,012 |
| 投資その他の資産合計 | 9,028,688 | 9,320,865 |
| 固定資産合計 | 20,858,858 | 22,879,343 |
| 資産合計 | 78,490,857 | 77,289,150 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,283,843 | 1,657,065 |
| 短期借入金 | 400,000 | 400,000 |
| リース債務 | 3,108 | 2,049 |
| 未払法人税等 | 523,362 | 823,056 |
| 契約負債 | 14,743,418 | 9,307,567 |
| 賞与引当金 | 361,599 | 386,489 |
| 製品保証引当金 | 345,742 | 363,831 |
| その他 | 1,435,664 | 1,690,014 |
| 流動負債合計 | 19,096,739 | 14,630,074 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 7,974 | 5,443 |
| 繰延税金負債 | 2,020,912 | 2,239,438 |
| 退職給付に係る負債 | 230,209 | 235,437 |
| 資産除去債務 | 62,559 | — |
| その他 | 156,591 | 156,503 |
| 固定負債合計 | 2,478,247 | 2,636,822 |
| 負債合計 | 21,574,987 | 17,266,897 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 400,000 | 400,000 |
| 資本剰余金 | 9,348,189 | 9,644,707 |
| 利益剰余金 | 41,421,632 | 43,527,101 |
| 自己株式 | △35,798 | △20,067 |
| 株主資本合計 | 51,134,022 | 53,551,741 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △48,678 |
| 為替換算調整勘定 | 5,181,664 | 5,835,880 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,181,664 | 5,787,202 |
| 非支配株主持分 | 600,182 | 683,308 |
| 純資産合計 | 56,915,870 | 60,022,253 |
| 負債純資産合計 | 78,490,857 | 77,289,150 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 売上高 | 28,933,469 | 25,189,107 |
| 売上原価 | 14,084,889 | 13,009,549 |
| 売上総利益 | 14,848,580 | 12,179,558 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,281,462 | 5,860,603 |
| 営業利益 | 8,567,117 | 6,318,954 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 86,737 | 76,465 |
| 受取配当金 | 3,255 | 5,981 |
| 受取賃貸料 | 23,277 | 8,079 |
| 持分法による投資利益 | — | 126,818 |
| 為替差益 | — | 118,924 |
| デリバティブ評価益 | — | 173,607 |
| 補助金収入 | 59,051 | 94,456 |
| 債務勘定整理益 | 62,796 | 5,471 |
| その他 | 19,982 | 68,989 |
| 営業外収益合計 | 255,101 | 678,795 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,699 | 2,598 |
| 持分法による投資損失 | 18,166 | — |
| 為替差損 | 631,310 | — |
| デリバティブ評価損 | 2,819,815 | — |
| 賃貸費用 | 11,422 | 4,432 |
| 寄付金 | — | 13,408 |
| 株式報酬費用消滅損 | 3,006 | 9,106 |
| その他 | 916 | 2,537 |
| 営業外費用合計 | 3,487,336 | 32,083 |
| 経常利益 | 5,334,882 | 6,965,666 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 343 | 5,733 |
| 特別損失合計 | 343 | 5,733 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,334,538 | 6,959,932 |
| 法人税等 | 1,161,127 | 1,446,359 |
| 四半期純利益 | 4,173,411 | 5,513,572 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 74,762 | 72,932 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,098,648 | 5,440,640 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 4,173,411 | 5,513,572 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △48,678 |
| 為替換算調整勘定 | 2,469,661 | 551,334 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 279,536 | 108,083 |
| その他の包括利益合計 | 2,749,197 | 610,739 |
| 四半期包括利益 | 6,922,609 | 6,124,312 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,831,478 | 6,046,178 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 91,130 | 78,133 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|---------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 減価償却費 | 587,280千円 | 656,398千円 |
| のれんの償却額 | 140,172 | 154,014 |

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、成膜装置事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月12日

株式会社オプトラン
取締役会 御中

有限責任大有監査法人
東京都千代田区

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新井 努

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 本間 純子

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社オプトランの2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2024年7月1日から2024年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2024年1月1日から2024年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。